

右田地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月8日（土） 午前10時～午後11時30分

【場所】 右田公民館 集会室

【出席者】 右田地域住民ほか 計38名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

防府で仕事をしているのに、子供の医療費が長い間無料になるので下松から通ったほうが安いという人も多い。人口減少を前提にするのではなく、人口をいかに他所から集めて増やしていくか。

防災拠点としての対応は、ソラールなどのバスでの輸送の面や、警察署も近いなど、現庁舎敷地が大きく優位だと思う。駅北エリアに反対というわけではないが、もし駅北になったときにどれ位人が集まったりするか疑問。

無理にひとつにまとめるのではなく、一般の方々が足を運ぶことのない土木部門は分け、ルルサスなどにも分けて有効利用することを考えてはどうか。

◆質問者2

一番立地のいいところ、交通の便も、密集していて交通量が多いところに移転するというのはどうか。

●庁舎建設室長

人口減少対策については、資料の2枚目、5番、「新庁舎とまちづくりの将来像」というところに狙いを書いている。まちなかに庁舎を建設する意味として、中心を定めたまちづくりをして、庁舎の移転をきっかけにまちなかをリノベーションして行こうと。図の中に「居住の誘導」とあるように、アクティブシニア層の居住を促進し、駅周辺の便利な場所を受け皿にしていこうということ。

防災については、確かに現庁舎敷地が優位であり、検討委員会でも議論になったところだが、5つの評価軸を総合的に判断されたということ。

ルルサスについては、失敗と言われる方もいるが、できる前と後を考えると、土地のポテンシャルは確実に上がったと思う。にぎわいの部分はまだ足りていないが、これからも努力していかなければならない。アスピラートも含めて、どのように有効な活用が

できるか、色々な知恵を入れていけたら良い。遊休化したものを活かすということが大切で、なぜ駅北かという、有効活用できていない土地があるということ。

◆質問者 3

ルルサスとアスピラート、図書館、駅周辺に既に3つ施設があり、その効果がどれだけあって、庁舎を作ることによってどれだけ効果が見込めるか、数値的にどこまで把握しているか。

駅北公有地のB'案では集合住宅には役所の機能は一切ないのか。

集合住宅などの民間活力導入と庁舎建設とは無関係という気がする。どうして庁舎が必要なのか、もう少し説明を。

◆質問者 4

シンポジウムの際の資料より対比が多くなったことは評価するが、最終的には現在の土地との比較が必要。平成27年9月のアンケートの用地の賛成、反対のパーセントがわかれば教えて欲しい。建設候補地の選定で、現在の地点ではなぜだめなのかがピンとこない。どういうところがダメなのかを出すべき。移転するなら今から跡地の利用ももっと考えるべき。地権者の協力が得られるのか、その目途はあるのか。

●庁舎建設室長

資料3ページ、アクションイメージの中に、三角形になっている「にぎわい空間」と書いているが、回遊の核を作りたいということを入れている。

図書館の利用は以前より格段に増えているが、それを商業に呼び込めていない。今の状況で満足ではないので、関係部署と協力して手を打っていきたい。

事業計画のA案は用地取得しない案、B'案はB案を前提に更に用地取得ができた場合、集合住宅など事業性が保てるものを提案してもらう案で、B案とB'案は民間が入るかどうかの違い。

用地については地権者には全く交渉などしていない。

27年9月のアンケートでは、どちらの土地が良いかという設問はなかった。

両方の案を作って比べることについては、何らかの対応があるだろうとは思っている。

現有地では何がだめかということは、今、建っているところであり、いい土地である。しかし、建替えるには100億くらいのお金がかかるので、まちづくりということも考えた結果、駅北のほうがよいとなった。

30億の違いというのは、選定の前段階で示した数字で、その当時27億円だった用地取得費は9億1千万円まで減らしている。なぜかと言うと、選定する前に小さい数字を出して後々高くなったということになれば話が違くなるので、面積も大きく、金額も高めに見込んで30億円も違うがどうかと示した。今の計画で出している数字は、実際にはそこまでの土地は必要ないだろうということで、必要最小限の面積とした数字。現庁舎敷地の数字は出していないが、差はほとんどなくなっている。

跡地利用については、いろいろな考えがあるが、今からである。

◆質問者 5

今回の説明は北に移転というのが決定した上での説明か。今から検討ではないのか。両方の案についての説明があるのかと思っていた。

◆質問者 6

市議会の現庁舎案作成の決議が全会一致なので、早急に作ってもらいたい。広さとか使い勝手だが、車の便で考えると今の庁舎は全部で4箇所出入口があり、全て平地で車の流れが良い。それでも確定申告のときなどは混雑する。もし駅北で立体駐車場となると、ルルサスの駐車場のイメージで渋滞する。確定申告のときなどは大渋滞になる。やはり、今の現庁舎地のほうが使い勝手がいい。

そう考えると、5つの評価軸の中のアクセス性と集まりやすさは、今のところがよいし、経済的合理性も早くて安い今の庁舎のほうが良い。

◆質問者 7

現庁舎敷地と駅北公有地エリアでどちらがよいかという話だが、私も今は車で行けるが、免許返納することになれば、アクセスは優劣つけがたいと思う。でも、バスのターミナルがあれば、場所にはあまり関わることなく、便利になる。そのとき、スペースは現庁舎敷地が広いので、何かにつけて色々なことが実現しやすいと思う。

●庁舎建設室長

資料の一枚目左下を見ていただきたい。市役所の移転は市役所の位置の条例を議会の3分の2以上の議員の同意を得て改正しなければできないので、条件付の計画であり、決定したものではない。検討委員会でひとつを選んでいただいて、市の執行部としてはそれを基に計画を作らせてもらった。そこには現庁舎敷地は入っていない。その計画の説明をさせてもらっている。それで納得してくれとか、決め付けているわけではないので、ここでは反対の意見も十分お聴きしたい。

使い勝手の話は、検討委員会では、車に過度に頼り過ぎない、歩いて暮らせるまちというようなイメージで未来志向で考えられたが、確かにスペースが広いのは良いこと。

◆市長

右田地域では火葬場の建設や公民館の駐車場も広い駐車場を整備してきた。私が市長に就任したときは、赤字団体に転落寸前であり、行政改革に取り組んできた。体育館もごみの焼却場も作り、そろそろどこかに市役所を建設してもいいのかなあとということで、貯金も33億円できて、検討委員会で検討して、駅北の市有地を活用するのが良いのではないかという結論をいただいたので、そのことについて行政の判断を皆様にご説明しているということ。北に決まったわけではないし、密室でやっていることでも断じてない。これから地区地区を回り、説明しながら、一緒に協議を進めていきたい。